

おもな記事

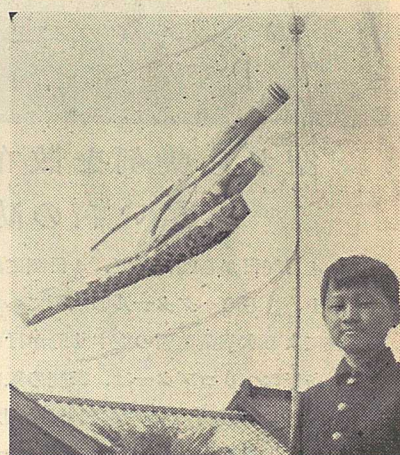
部落長会議ひらく	1
農作業	2
農業技術の交流	3
37年度建設のすがた	4・5
玉造工高の入学式	6
ふるさとに寄せて	7
健康のしおり	8
福祉欄	8
商工会欄	10
青年団だより	10



第48号 昭和38年5月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

部落長会議ひらく

本年度の施策など説明



のびゆく児童を
みんなでまもりましょう

38年度最初の部落長会議が、4月9日午前10時から、青年研修所でひらかれました。
新部落長50名が出席、役場側から町長をはじめ各課長が列席しました。
まず、町長から38年度予算について、事業計画とともに、その大綱を説明したあと、各課からの協力要請と、質疑がとりかわされました。大要は、次のとおりです。

- 道路関係について
部落の重点整備路線を選定すること。
- ・小型自動車の一般借上げは原則としてやらない。
- ・土とりの場合は、常備車が一人以上いないときはやらない。
- ・道路に接したプロテクションをつくるときは、建設課に申し出て境界を確認してからやってもらいたい。
- ・道路に草を捨てない運動をたかめよう。
- 衛生関係について
一般健康診断は6月末から行ない、胃の集団検診は、7月頃の予定。
- ・環境衛生薬剤散布は、4月から9月まで行う。

○役員は、次の方々です。
ついで、午後、部落長会の総会をひらき、38年度予算をきめ、役員を選任しました。
部落長会は、昨年4月、町政についての調査研究、関係機関との連絡協調、先進地視察などを行なう。町の発展向上に寄与することを目的として結成したものです。

部落長会長に

久米さん

＝町＝政＝日＝誌＝ 4月

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 1日 | 農業構造改善事業打合せ |
| 8日 | 黄萎病対策協議会 |
| 9日 | 部落長会議 |
| 13日 | 農業構造改善事業推進協議会 選挙管理委員会 |
| 15日 | 同上 |
| 17日 | 県知事、県議会議員選挙 |
| 18日 | 農業委員会農地部会 |
| 19日 | 婦女子教養講座閉講式 青年研修所運営委員会 教育委員会 |
| 22日 | 農業委員会総会 |
| 25日 | 青年学級 固定資産評価審協力員表彰式 |
| 26日 | 社会福祉協議会理事会 広報委員会 |
| 26～29日 | 黄萎病防除実施 |
| 27日 | 月例監査 |
| 30日 | 社会福祉協議会総会 |

- △会長 久米久良（下宿）
- ▽副会長 松本栄治（西連寺）
- ▽評議員 大久保通（常宿）
- 青木二三（新西）
- 堀田西平男（小座山）
- 岩本 誠（柄貝）
- 荻谷 真（緑が丘）
- 若泉富蔵（芹沢）
- 根崎公一（若海）
- 橋本為次（沖洲）
- 関口 隆（浜）

就任のあいさつ

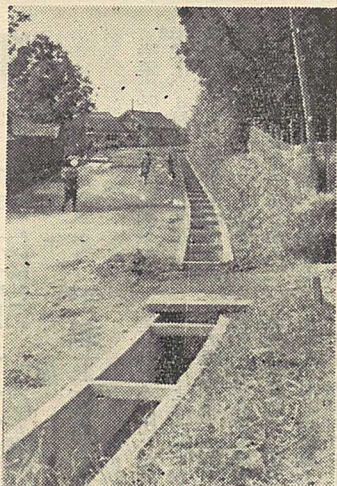
部落長会長 久米久良

部落長会の総会において、会長に選任されましたことは、誠に光栄のいたりでございますが、私自身を省みると、浅学非才、この重責をいかに果たすか、疑々々々たるものであります。

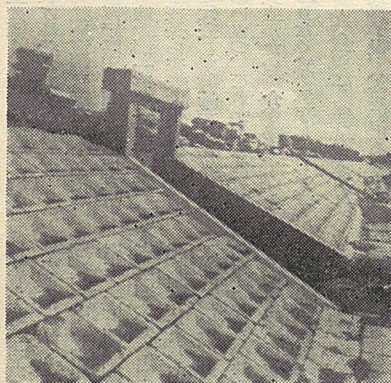
しかし、任に就いた以上、ひとえに皆様の絶大な協力と、ご鞭撻により、至誠をもって、共々、町の発展のために働きたいと考えております。

我々部落長の役目は、まことに目立たない地味な仕事ではありますが、部落長諸君の声を直ちに町政に反映させて、明るい町づくりに協力せねばならないと確信するものです。

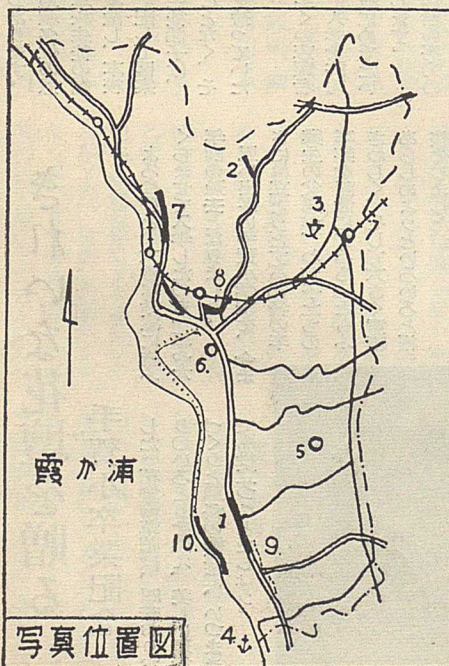
重ねて、皆様のご協力方をお願いして、就任のあいさつといたします。



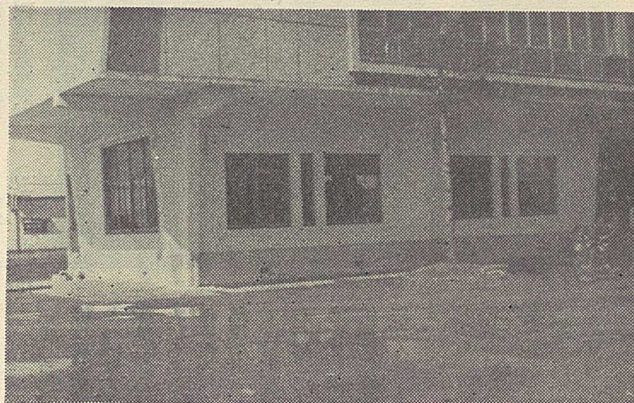
9、土地改良用水路工事(玉川土地改良区)
大字井上地内 延長350メートル
工費240万円 施工寺内工務店
昭和38年3月25日完成



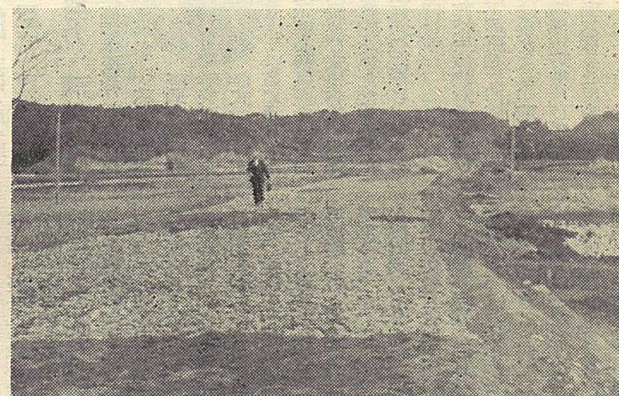
霞ヶ浦湖岸堤防工事(県営)
大字西蓮寺井上地内 延長650メートル
工費1200万円 施工鈴木建設
昭和38年3月完成



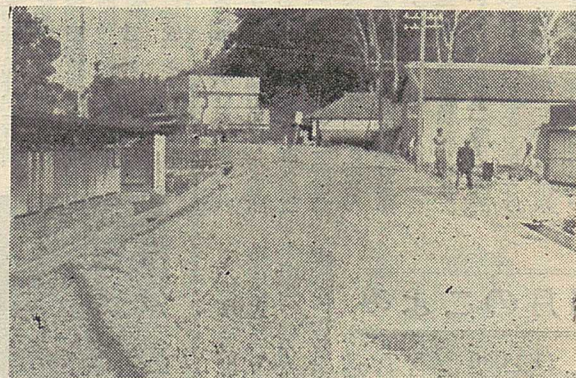
37年度



6、庁舎改修工事
町民室130平方メートル 工費70万円 直営
昭和38年6月22日完成



7、県道石岡潮来線改良工事(県営)
大字八木蒔地内 延長800メートル 工費1200万円 施工宇野建設 昭和38年3月完成

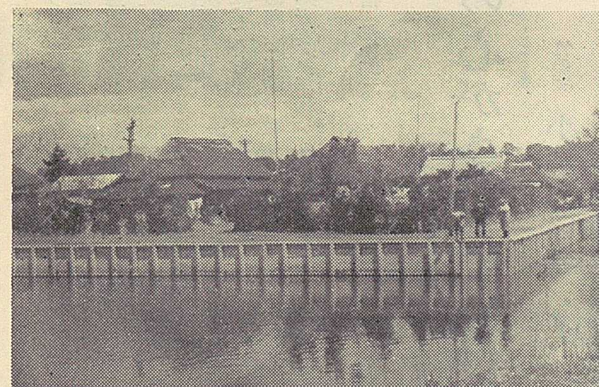


8、県道玉造鹿田線改良工事(県営)
加茂上宿地内 延長150メートル 工費350万円 施工東野建設 昭和38年3月完成

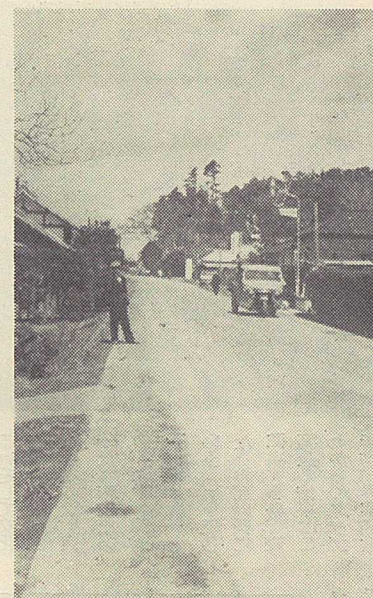
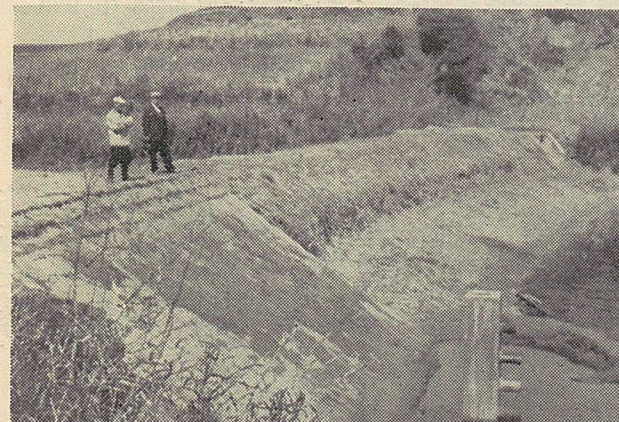
建設のすがた



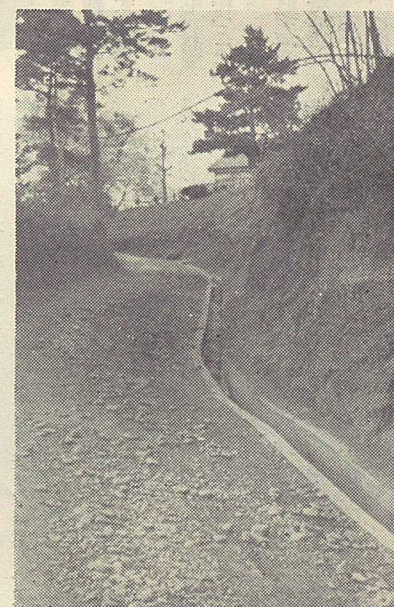
3、玉造工業高等学校建築工事(県営)
大字中山地内 工費3900万円 施工宇野建設
昭和38年3月完成



4、荒宿漁港防災工事
大字荒宿地内 工費140万円 鹿行建設
昭和38年3月25日完成



1、県道石岡潮来線舗装工事(県営)
大字西蓮寺地内 延長840メートル 工費1200万円 施工新光道路 昭和38年3月20日完成



2、現原中学校入口町道改修工事
大字捨木地内 延長160メートル 工費25万円 施工玉造建設
昭和38年5月17日完成

5、男池堤防補修工事
大字西蓮寺地内 工費20万円 施工根崎常雄
昭和38年3月20日完成

輝かしい伝統への出発

玉造工高の入学式

待望の県立玉造工業高等学校入学式は、4月12日午前10時から、絶好の天気に恵まれて挙行されました。

この日にあわせて工事を進めた本館は式に間にあわず、電気科の実験室が式場にあてられました。

一七六名の生徒は、将来の技術者への決意を胸にして、校長先生はじめ諸先生、父兄、来賓、そして社会の祝福を受けて入学を許可され、輝かしい玉造工高の歴史の



(小島君の宣誓)

第一歩をふみ出したわけですが、きりつとした黒い制服にまじっての清楚なセーラー服の女生徒二名は、工業高校へは異なればじめての入学とき、工業界への女性進出はたのしい限りと感じました。

式は、教頭高須先生の開式のことばに始まり、一同の君が代斉唱、入学許可があり、別項のような校長先生の式辞がありました。

入学生を代表して、小島裕一君(玉造出身)は

「きょうの感激を胸に秘め、りつぱな本校生徒になることはもちろん、将来有為な工業技術者として、日本工業の一翼をなすため、勉学に運動に懸命にがんばります。」

しかも、玉造工高の歴史の第一頁をつくる重大な使命をになつて、常に、完全な校風の樹立と輝かし



健康・努力・清純な心
玉造工業高等学校長 石浜 盈

本校は、高校生急増対策ならびに進路地区工業開発に即応するため、県当局はもとより、地元玉造町ならびに関係市町村及び県議会議員各位の絶大なご尽力により、校地一八八千坪、総工費一億九千余万円をもって、三年の年次計画により昭和三九年度を完成日

標にして建設されつつあります。私共は、永くこの地域各位の恩顧を記念するため、本校生徒の帽章に、玉と湖の形を象徴し、本校本来の工の字を中央に配って図案化し製作しました。生徒諸子は、このゆかりを忘れることなく、その恩に報いるの決意を持っていただきたいと思ひます。

新入生諸君は、数多くの志願者から選ばれて、本校に入学を許可されましたことは、誠にめでたいこととお喜び申し上げます。

もちろん、それは諸君の努力の賜ではありますが、直接には、諸君を日夜はぐんでくださった父兄ならびに過去九九年ご指導くださった小、中学校の先生方、また間接には、さきに申しあげた近局ならびに地域の先覚者のご努力によつて、この勉学の場を与えられたことを忘れてはなりません。

本校に入学された諸君は、月歩の現在の技術革新の時代に処して、在学三年の間に工業技術者としての基礎知識と、技能の習得練習につとめることはもちろんであります。が、学校本来の目的は人間完成であることを理解して協調、責任など常に自己の修養発展に心掛け、将来工業界を双肩になし、りつぱな仕事ができる素地をつくられるよう切望します。

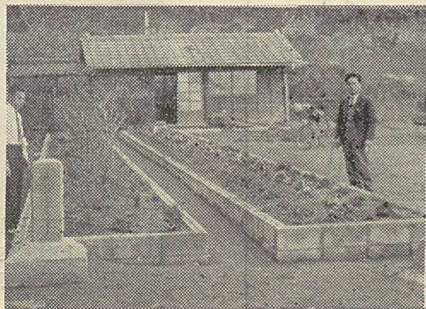
人は、何事をするにもまず健康でなければなりません。健康こそ無形の宝であり、その保全、増進に心がけることはたいせつな要素の一つであります。

きれいな花壇を贈る

手賀小卒業記念

よるごと、大きな希望に胸ふくらませて入学したのも、早や六年前の過去となりました。

思い出多い手賀小学校を、今まさに巣立とうとする73名の卒業生の父兄が、わが子たちの卒業を記念するものとしてふさわしく、そして大きく意義あらしめようといひいろいろ相談をしましたが



「よい花壇をつくって贈りましょう」ときまりました。

父兄の皆さんは、二日間、二班にわかれての努力奉仕、寄付金、記念植物等を寄せ、校舎前に、写真のような、りつぱな花壇をつくり、三月二十二日完成、学校に寄贈しました。

つきには、努力であります。いかにすべた成績で入学しても油断してはなりません。古人の言つた「坂に車を押す如し」の言葉をよくさん味し、ますます研さんにつとめるこそ、学生の本分であり、

第三には、心の清純さであります。いかに物を知り、技術が優秀であっても、人格がともなわなければ、社会の一員としてりつぱなことをすることはできません。

以上「健康」「努力」「清純な心」の三点をきまに銘じ、本校第一回の入学生としての誇りをもつて、所期の目的達成にまい進されることを希望します。

所感の一端を申し述べまして、式辞といたします。

5月のこよみ

- 3日 憲法記念日
- 5日 こどもの日
- 5日-11日 児童福祉週間
- 10-16日 愛鳥週間
- 12日 母の日
- 11-20日 全国交通安全運動
- 15-16・14日 農薬危害防止運動
- 18-24日 科学技術週間

望郷

飯田 喜市



野には花咲き、山には鳥歌う陽春の候となりました。

玉造町のみなさんには、農事、その他それぞれの仕事に励んでおられることと思ひます。

私も、ふるさとを離れて七年、水戸の地は仮の住い、心はいつもふるさとに馳せ、毎月送つていた「広報たまつくり」に興味ぶかく読ませてもらつています。

玉造町も合併後八年たつて、町の建設に総額、総努力を凝らしてられることは心強い次第です。

県内には、郷土出身者の愛郷心によつて、飛躍的に発展している町や村があるようですが、わが玉造町も、町出身者の理解と協力が寄せられていることは、まことに喜ばしい限りです。

いまの国政にも、地方政治にもいろいろの問題があり、混乱がありますが、玉造町は、右にも左にもよらず、秩序的に平穩に歩みを進めつつありますが、今後、みなさんの幸福と繁栄のために、一そこの躍進を期待しております。

私は、新町の落成当時、浜駅と玉造町駅をつなぐ道路の建設と幼稚園の新設の二つを提言したこ

とがありましたが、現在町の発展構図はどのように描かれていようか。

町に生まれ、町に住む者のために町に生まれ、町から出る人のために

幸福の創造はどのように、考えられているのでしょうか。

就業構造は、人口対策は、生活環境対策は、どんなことがとりあげられているでしょうか。

いろいろの事業の計画や、実施にあつて、町として財政的に着手できないものがあるのでしょうか。

そこには、地方制度を根本的に改革しなければならぬものがあると思ひます。

八年前の合併当時、政府がとなえたことはどうなつていようか。

1、住民の負担が軽減されたか、2、新規に有効な事業や施策が行なわれたか、3、合併前にできなかったことが、何ができ、しかも、その成果はあつていようか。

統合中学は生れたが

荒宿 鈴木 馨

をジツクリ考えてみる必要もあります。

町では、すでに町長選挙は終り四月には町議選挙もないそうだが、他町村の動向を他山の石として「もめ浜に漁なし」のたえのとおり、一段と町発展の路線が確立されることを希望します。

中学校の統合が数年おくれたといふように見ることは酷でしようが、きまつた以上は、その内容も高校に準ずる程度にまで充実するよう、衆知をあつめて進まれるべきであります。

また、工業高等学校が新設されたことは、町の子弟のためにも、近郷のためにも、祝福にたえない次第です。中学、高校から集立つ若い人々の手によつての町づくりを期待し、その方向づけこそ、当面の町当局、議会当局の任務であり、せつなく努力なされていることは欣ばしく思ふ。

最近よくいわれる「中央に直結する地方政治」といふ言葉くらい有権者を愚弄するものはないと私は思ひます。

地方自治が中央に直結すること

昭和35年から二か年にわたつて教育振興対策委員会が百八名の委員が検討に検討をかされた結果、昭和37年にその審議がなされ、これをもとにして一校に統合された中学校が生まれようとしたが、本年中月やとそこのうぶをあげることになりました。

そして今、うぶ着の準備をしていのですが、りつぱなうぶ着を着せ、健康に育てあげようとする気持ちは私ばかりではありません。しかし、これを仕上げるには、なかなか容易ではありせんます。遠距離通学地区では、玉川の場合、一か年一八六割の補助

を受けても、平均五千人はかかります。二〇〇八の中学生を通学させるためには二〇〇万円から、立花、現原の遠距離地区を合わせた二〇〇万円近くの通学費を見込まなければならぬでしよう。

そのほか、通学途上における交通事故の問題、風紀上の問題、勉強する在校時間の問題等が加えられ、

そこで、うぶ着の生地にあたる敷地に指定されたがたに申しあげます。

先祖伝来、耕作の基盤として生活を営んでこられた土地と離れることは、誠に不気味であり、その心境は察するに余りあります。

よくわかります。しかし、その生地がなければ、生まれでた統合中学といふことも、うぶ着を着せられないのです。と云つて、いつまでも裸ではおけません。

私も、自分の部落を考え、また玉造町の将来を思つたとき、「忠ならんと欲すれば孝ならず、孝ならんと欲すれば忠ならず、進退ここにきまむ」と言つた平重盛の心境に立つたことも、幾度ありました。どうか、玉造地区のみなさん、遠距離通学者のかたがたの心境を察し、敷地に指定された方たちはかりに負担をかけず、全地区一丸となつて、生活基盤の土地と離れる方たちと同じ気持ちになつて、後顧の憂いなく大義をつくされるよう、ご尽力をお願いするとともに、りつぱなうぶ着を着せ、健康に育てあげよう共々協力しようではありませんか。

母の日

5月12日(第一日曜日)は母の日です。

一九〇八年以来キリスト教徒の年中行事の一つで、母のある人は胸に赤いカーネーション、ない人は白いカーネーションをつけて母をしのび、感謝の意を表わします。

郵政省では「母の日」にちなんで、美しい特殊はがきを発行し、親許を離れて暮らす人々に、母に感謝の便を出すよう呼びかけます。

国民体育デー

5月19日(第3日曜日)は「国民体育デー」です。この体育デーは「明るく健康な生活をきつたために、国民の一人一人がその日常生活をとおして、それなりにふさわしいスポーツ、レクリエーションの活動に親しむための日」となつています。



筆者略歴
大正2年 玉川井上で出生
昭和3年 玉川小学校卒業
昭和15年 玉川村役場勤務
現在 茨城県農地課庶務係長
住所 水戸市千波町五〇六番地

38年度通常総会開催

商工会欄

昭和38年度玉造町商工会通常総会は、4月27日午前10時から、役場大会議室で開催されました。

会長 菅谷 肇

副会長 岸台光雄、石橋正男

理事 玉造 橋詰芳雄、橋本幾次郎、坂本昇、田谷邦義、田沢英、成島良昌(手賀) 沼田詮章

高塚正男、理範節、田富照治、(玉川) 原松男、野原芳一、西谷久喜、根本慎吾、(立花) 井川重松、山中俊男、松井昇、飯島仁(現原) 風間忠兵衛、新堀

豊
昭和37年度収支決算
収入の部
会費 二四九、九五〇
県補助金 四六、六〇〇
町補助金 二〇〇、〇〇〇
特別金 三六、六〇〇
手数料 一四、三三四
加入金 一、七〇〇
雑収入 六四、三〇二
未収金 一、五〇〇
繰越金 三五、五八二
計 一、〇六三、五五八
支出の部
経営改善普及事業費 五五、一三七〇
一般事業費 一、二八、四八〇
管理費 三七六、二七九

収入の部
会費 二四三、〇〇〇
県補助金 五二七、四〇〇
町補助金 二五〇、〇〇〇
特別金 一五〇、〇〇〇
手数料 一〇〇、〇〇〇
加入金 二〇〇、〇〇〇
雑収入 一、六〇〇
未収金 七、四二九
繰越金 一、二二一、四二九
計 一、二二一、四二九
支出の部
経営改善普及事業費 六〇五、四〇〇
一般事業費 二二一、〇〇〇
管理費 三七八、二五〇
予備費 六、七七九
計 一、一二一、四二九
小規模事業指導計画
一、講習会
二、講習会
三、講習会
四、講習会
五、講習会
六、講習会
七、講習会
八、講習会
九、講習会
十、講習会
十一、講習会
十二、講習会
十三、講習会
十四、講習会
十五、講習会
十六、講習会
十七、講習会
十八、講習会
十九、講習会
二十、講習会
二十一、講習会
二十二、講習会
二十三、講習会
二十四、講習会
二十五、講習会
二十六、講習会
二十七、講習会
二十八、講習会
二十九、講習会
三十、講習会
三十一、講習会
三十二、講習会
三十三、講習会
三十四、講習会
三十五、講習会
三十六、講習会
三十七、講習会
三十八、講習会
三十九、講習会
四十、講習会
四十一、講習会
四十二、講習会
四十三、講習会
四十四、講習会
四十五、講習会
四十六、講習会
四十七、講習会
四十八、講習会
四十九、講習会
五十、講習会
五十一、講習会
五十二、講習会
五十三、講習会
五十四、講習会
五十五、講習会
五十六、講習会
五十七、講習会
五十八、講習会
五十九、講習会
六十、講習会
六十一、講習会
六十二、講習会
六十三、講習会
六十四、講習会
六十五、講習会
六十六、講習会
六十七、講習会
六十八、講習会
六十九、講習会
七十、講習会
七十一、講習会
七十二、講習会
七十三、講習会
七十四、講習会
七十五、講習会
七十六、講習会
七十七、講習会
七十八、講習会
七十九、講習会
八十、講習会
八十一、講習会
八十二、講習会
八十三、講習会
八十四、講習会
八十五、講習会
八十六、講習会
八十七、講習会
八十八、講習会
八十九、講習会
九十、講習会
九十一、講習会
九十二、講習会
九十三、講習会
九十四、講習会
九十五、講習会
九十六、講習会
九十七、講習会
九十八、講習会
九十九、講習会
一百、講習会

3月 確定申告説明会

二、個別指導
5月 店舗診断
7月 企業診断
10月 店舗診断
39年3月 税務指導
3、経営指導による巡回指導計画
月曜日 玉川、手賀
火曜日 玉造
水曜日 在室(窓口)
木曜日 立花、現原
金曜日 玉造
土曜日 在室(窓口)
年度初めにあたり
昭和37年度の経営改善普及事業も、みなさんの熱心な協力によりまして、全計画を完了しました。

地区団長

(玉川) 滝崎三郎、(手賀) 横須賀司人、(玉造) 橋本秀男、(現原) 平間武男、(立花) 千ヶ崎正男
監事 田山隆雄、郡司徹、千ヶ崎武男
青年団活動のあり方
団長 小津 栄



このたび、
玉造町青年団の推せんにより、本年度玉造町青年団の重責をになうことになりました。本来浅学未熟で、その任にあたる器ではありませんが、みなさんのご支援と、ご鞭撻によりよりよい青年団を築きあげるため努力したいと存じます。

玉造町連合青年団理事会は、4月10日青年研修所でひらかれ、事業計画、予算などをきめ、新しい役員を選出しました。

連合青年団 事業計画など決定

等あげていきます。
新しい役員は次のとおりです。
団長 小津 栄(宿)
副団長 茂木昌(宿) 仲田達男(藤井) 高野真一(浜)
役員 日吉孟(谷島) 江橋久子(上宿)
体育部長 岡里敏男(島名木)
産業部長 郡司徹夫(根古屋)
社会部長 橋本秀男(加茂)
文化部長 鈴木 一(中山)
女子活動部長 島田光江(浜)
会計 真家幸治、小治孝子
事務局 斎藤勝美(小座山)

玉造町連合青年団理事会は、4月10日青年研修所でひらかれ、事業計画、予算などをきめ、新しい役員を選出しました。

玉造町連合青年団理事会は、4月10日青年研修所でひらかれ、事業計画、予算などをきめ、新しい役員を選出しました。

象は、我々青年であり、学習の場を団活動の一環としてすめたらば、円滑な学校運営ができるのではないのでしょうか。また、団員の構成をみますと、大部分の方が農業に従事していますので、ラジオを聞きながら、農業の近代化にともなう農業構造改善事業の実施に適切なような学習をしたいと思ひます。

人事短信

○農業委員八木豊氏は、4月30日辞任しました。
○玉川農業協同組合長に安部載徳氏、玉造農業協同組合長に川島治助氏が就任しました。

発行所 玉造町役場 発行人 坂本常蔵 編集広報委員会(定価一部10円) 印刷所 新いばら印刷局